

ホテル・
旅館の
経営者から

ホテル・
旅館の仕事は、
これほどまでに
おもしろく、
魅力的である。

次世代へ

おくる

熱い
メッセー
ジ

オータパブリケーションズ

世界に羽ばたけ、日本のホテリエ

Rホテルズ インターナショナル株式会社 取締役
尼崎セントラルホテル 総支配人
片野 真治 SHINJI KATANO



1967年生まれ。90年ラフォーレ東京入社。ベルキャブテン業務を経験の後94年チサンホテル東京に入社。その後株式会社ホリデイイン東京、ホテル西洋銀座、タラサ志摩ホテル&リゾート、パンパシフィックホテル横浜、U&R ホテルマネジメント等を経て2007年7月アズパールホテル&スパ ATAMI に総支配人として入社。その後オズベルトインターナショナルを経て11年4月ワールドアプレイザルジャパン入社。12年11月より現職。

21世紀に入り、世界は急激に国境という概念が無くなってきています。世界中のいろいろな業界の企業が国境を越え、活動しています。

この日本においても長らく「島国」という特殊な環境の中で守られてきましたが、とうとうその環境が変化してきています。

従来、日本企業は、日本語を話す日本人で多く形成されてきました。しかし今、いろいろな企業で「同僚は外国人」ということが普通になってきています。おそらく10年後にはあらゆる企業で、いろいろな場面において、外国人のスタッフと共に働くことが普通になってくるでしょう。それと共に、海外で働く日本人も今より飛躍的に多くなり、従来の日本の常識は非常識、非常識が常識になるような場面も多くなるでしょう。

このホテル業界は日本の中ではいち早く外資系

企業が参入してきた業界です。参入当時はその外資系ホテルのオペレーションと、従来の日本のホテルオペレーションとの違いに驚きの声があったと先輩たちに聞きました。

しかし、今やそのオペレーションがスタンダードになり、日本中の多くのホテルで採用されています。言い換えると、今や世界中の多くのホテルと同じスキルを日本の中で身につけることができ、数少ない業界の一つに成長しました。

われわれの世代でも世界に羽ばたき、活躍している人材が数多くいます。しかし、まだまだ世界の中では日本のホテリエは稀な存在です。

私自身も海外企業で勤務した経験があります。私のチームは香港人のボスの下に、オーストラリア人、シンガポール人、タイ人、そして日本人の私でした。その中で感じたことは、今まで日本で

学んだことは、間違ってはおらず正しかったということ。そして日本人のホテリエとしての才能の高さです。

皆さん、海外に出ることは怖いことではないです。素敵なことです。ぜひ、皆さんの力で世界中のホテル業界を変えてください。